

## 高2、中2、小5生も受験校の早期決定を

—入試合格を確実にするために—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：希望校合格を確実にするにはどうしたらよいのですか。

A：(林明夫：以下省略)何のために進学するのかという目的をはっきり持つことが第一。人の生命を助けたい、大切にしたいから、医師や看護師、薬剤師、介護士になる。世界の平和、世界や社会の持続的な発展に役立ちたいから、外交官や政治家、研究者になる。ものづくりやサービスの提供によって、日本や世界の人々に豊かな生活を送り届けたいから、技術者(エンジニア)やホテルマン、銀行員、スーパーマーケットの店員になる。ITC(情報技術コミュニケーション)により人々の生活を便利にしたいから、システム・エンジニアを目指したい。人々の安全を守るために、自衛官、警察官、消防士になりたい。人々の住む家や建物を作ったり、鉄道や道路、橋、ダム、港湾などを作ったりすることで、人々に住まいや働く場、移動する場を提供したいから建築家になりたい。

他にもたくさんあるでしょうが、このような様々な目的を叶えるためには、学校に行って基本的な勉強をし、基礎学力の他にいろいろな知識や技術、能力を身に付ける必要がある。だから、大学や高校、公立中高一貫校、私立中学校に進学する。

このように考えることが、最も望ましいと考えます。是非、カッと目を見開いて、自分はどのような生き方がしたいのか、何のために進学したいのかという進学の目的をはっきりさせて下さい。その上で、1日も早く受験校を具体的に決めて下さい。

Q：入学試験まではまだ2年近くある高校2年生、中学2年生、小学5年生も、この時期にもう受験校を決めた方がよいのですか。

A：勿論です。「私は、2年後この学校に入学する。そのために今勉強するのだ。」と、何のために勉強するかがはっきりしていればいるほど、勉強に集中でき、熱心に取り組めます。

ただ何となくダラダラと机に向かうのと比べれば、月とスッポンくらい差がつきます。

全員が入試を受ける高校2年生と中学2年生、公立中高一貫校や私立中学校入試を目指す小学5年生は、1日も早く、受験校を明確に決めることをお勧めします。

\* 来年1月に受験が迫った高校3年生、中学3年生、小学6年生で受験校がまだ決まっていない人は、自分の人生を真剣に考えた上で、「1日も早く」受験校を決定すること。受験校が決まらないと、受験勉強に真剣さが不足し、不合格になる可能性が高まります。

Q：2年間あれば、どんなに難しい学校でも合格できますか。

A：偏差値が20以上離れていると合格は少し難しいかもしれませんが、離れているのが15～20くらいなら、2年間あれば合格は可能です。今の偏差値が45の人でも、今日から2年間真剣に机に向かえば、大学入試でも、高校入試でも、私立中学校入試でも、偏差値65の学校に合格することは可能です。(但し、首都圏の有名私立中学校入試は除きます。)

Q：本当ですか。2年間あれば、今の自分の偏差値よりも15～20も偏差値が上の学校に合格できるのですか。

A：はい。十分可能です。但し、一つだけ条件があります。今日にでも開倫塾の先生に相談して、どのようにしたら合格できるかをアドバイスしてもらった上で、自分でもよく勉強することです。

開倫塾のホームページ([www.kairin.co.jp](http://www.kairin.co.jp))の中にある私のコーナーの「開倫塾ニュース」にも、勉強の方法がたくさん紹介してありますので参考にして下さいね。

Q：具体的には、どのようにしたらよいのですか。

A：開倫塾の教材を、スミからスミまで何回も何回もやり直すことです。例えば、算数や数学は、開倫塾の教材をスミからスミまで何回か勉強するだけで、誰でも偏差値は70以上になります。

なぜ偏差値が上がらないかと言えば、スミからスミまで何回もやり直さないからです。「理解」はある程度していても、「定着」が不完全だと「得点」にはならず、偏差値は上がりません。開倫塾の教材の徹底的な「音読練習」「書き取り練習」「計算(問題)練習」が、偏差値の大幅アップを約束します。このためには、勉強時間の確保が不可欠です。是非やってみて下さいね。

－ 2008年4月15日記－